



10月号

令和8年9月30日

横浜市立東中田小学校

校長 飯島 明良

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

人生がレモンをくれたなら

校長 飯島 明良

「アンカー ～最後の修学旅行を走りぬく～」

6年生はこのスローガンのもと、9月15、16日に栃木県日光市に修学旅行に行ってきました。

お天気が心配されましたが、1日目は活動を始めるころには雨もやみ、日光江戸村ではグループごとに江戸文化を楽しく体験することができました。夕方に訪れた湯滝では、その迫力に感動したり、滝から流れる水に触れてその冷たさに驚いたりしていました。夜は、栃木県を代表する伝統工芸である益子焼の絵付け体験をしました。絵付けをしているときの一人ひとりの真剣な表情が印象的でした。世界でたった一つのオリジナル作品の出来上がりが楽しみです。

2日目は雨。傘を差しながら、輪王寺、東照宮、大猷院を見学しました。雨の中、たくさんの見学者もいて、歩きづらさもあったと思いますが、1日目に見た湯滝のような雄大な自然の美とはまたちがった、荘厳な人工の美（建築美）を味わうことができました。

2日間の活動を通して、子どもたちはたくさん学び、たくさん笑い、スローガンの通り、学年目標「アンカー」に向けて走りぬくことができたように感じます。

"When life gives you lemons, make lemonade."

【人生がレモン（酸っぱいもの→試練や不運のたとえ）をくれたなら、それで甘いレモネードを作ればよい】

アメリカにはこんなことわざがあるそうです。「逆境を嘆くより、自ら前向きに行動してよい結果に変えよう」という意味です。2日間の6年生の姿は、まさにこのことわざそのものだったと思います。

1日目、日光への道中は交通渋滞の影響を受け、予定よりも遅れて日光江戸村に到着しました。2日目は、前述の通り、1日中雨に降られました。2日間、渋滞や天候といったどうしても抗えないものとはいえ、子どもたちには我慢を強いる場面がとて多かったです。それでも子どもたちからネガティブな言葉は聞こえてきませんでした。活動時間等の変更の指示をよく聞き、その中で一人ひとりができること、グループで協力してできることを考えながら精一杯活動し、学びや楽しみを得ていました。自らの前向きな行動により、逆境さえもはねのける姿はとて頼もしかったです。日光でしか味わえない自然の美、人工の美とあわせて、これからの人生においても大切な経験の一つとして、子どもたちの心に残ったら幸いです。

令和8年度もまもなく折り返し。引き続き土台を大切にした教育活動を実践してまいります。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

東中田小学校 学校教育目標

自らががやく、ともにかがやく